

S1

「第5章計画の技法」の中の

- 計画のプロセス(前回)
- **空間構成の技法(今回)**
- 空間形成のエレメント - 仕切りの技法(次回)

S1 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い見ればある 河井寛次郎

S2

## 2 空間構成の技法

### 2-1 空間構成の考え方と手順

- (1) イメージをつくる
- (2) コンセプトをつくる
- (3) 平面をえがく
- (4) 形をつくる

### 2-2 空間構成の手法(S13)

S2 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い見ればある 河井寛次郎

S3

### 図5-4 2つのグッゲンハイム美術館 (象徴)

図5-4 2つのグッゲンハイム美術館 (Guggenheim Museum)  
 ソロモン R.グッゲンハイム美術館 (左) (設計:F.L.ライト, 1943~59)  
 グッゲンハイム美術館ビルバオ (右) (設計:フランク・O.ゲーリー, 1991~97)

S3 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い見ればある 河井寛次郎

S4

### 図5-5 フィンランドの湖とアルヴァ・アアルトの作品 (象徴)

図5-5 フィンランドの湖とアルヴァ・アアルトの作品 (象徴)  
 ニューヨーク工芸博覧会のフィンランドパビリオンの1階平面図 (1939)  
 フィンランドの湖とアルヴァ・アアルトの作品 (Giedion, S., Space Time and Architecture, Harvard University Press, (p.63)の図と写真を転載), 1967)

S4 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い見ればある 河井寛次郎

S5

### 図5-6 あひるの形をしたドライブ・イン (象徴)

図5-6 あひるの形をしたドライブ・イン (R.ヴェンチュリ著、石井和成・伊藤公文共訳、SD選書「ラスベガス」鹿島出版会、p.120, 1979年)

S5 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い見ればある 河井寛次郎

S6

### 図5-7 ルドーやブレの作品にある幾何学形態

図5-7 ルドーやブレの作品の中にある幾何学形態 (Vogt, A.M., Boullées Newton-Denkmal Birkhäuser Verlag, (p.17), 1969)

S6 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い見ればある 河井寛次郎

**図5-8 アインシュタイン塔(彫塑)** S7

S7 2009/7/13 一見ればある 河井寛次郎

**図5-9 生花の定型(定型)** S8

S8 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い一見ればある 河井寛次郎

**(2) 空間のコンセプトをつくる** S9

- スケッチと言葉で表現
- 歴史的展開
  - ▶「ドミノ・システム」
  - ▶「有機的建築」
  - ▶「スキンとボーン」
  - ▶「光と構造」

S9 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い一見ればある 河井寛次郎

**図5-10 ナショナルアートギャラリーのオリジナルスケッチと鳥瞰写真** S10

S10 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い一見ればある 河井寛次郎

**(3) 平面を描く**

スケッチ・エスキス  
思いついたことを図面上に書き留めておく  
年月日などを入れる  
保存する

**(4) 形をつくる**

エコール・デ・ボザール(図)  
スケール感  
スケールアウト

S11 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い一見ればある 河井寛次郎

**図5-11 パリ・オペラ座** S12

S12 2009/7/13 建 56 河井寛次郎

S13

## 2-2 空間構成の手法

- (1) プランタイプ(図5-12,5-13)
- (2) ドミノ・システムと五原則
- (3) ユニバーサル・スペース
- (4) コア・システム
- (5) 連結の手法
- (6) 分割の手法
- (7) ゾーニングの手法
- (8) グループINGの手法
- (9) 軸線による空間の配列
- (10) グリッド・プランニング
- (11) セクションタイプからの発想

S13 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い—見ればある 河井寛次郎

S14

## 図5-12 ファンスワース邸

(シンプル且つ複雑なワンルーム)

S14 2009/7/13 図5-12 ファンスワース邸 (設計: ミース・ファン・デル・ロース, 1950)

S15

## 図5-13 2部屋を結ぶ方法

図5-13 2部屋を結ぶ方法

S15 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い—見ればある 河井寛次郎

S16

## 図5-14 ドミノ・システム

図5-14 ドミノ・システム (Les Maison (Dom-ino), 1915)  
(Boesiger, W. et Stonorov, O., Le Corbusier 1910-1929, Les Editions d'Architecture, Erlenbach-Zurich, p.23, 1948)

S16 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い—見ればある 河井寛次郎

S17

## 図5-15 ル・コルビュジェの5原則

図5-15 ル・コルビュジェの5原則

S17 2009/7/13 建築 図5-15 ル・コルビュジェの5原則 (河井寛次郎, 1987年, p.100)

S18

## 図5-16 イリノイ工科大学クラウンホール

ル(ユニバーサルスペース)

図5-16 イリノイ工科大学クラウンホール (設計: ミース・ファン・デル・ロース, 1950)  
(H.ステファリン著, 鈴木博之訳「図説 世界の建築・下」, 創元社, p.476)

S18 2009/7/13 図部

**表5-3 コア・システムのプランタイプ** S19

表5-3 コア・システムのプランタイプ一覧表

内部コア	センターコア (中央コア)		
	偏心コア (片寄せコア)		
外部コア	片側コア		
	ダブルコア (両端コア)		
	分散コア		

S19 2009/7/13 部

**図5-17 連結型のプラン** S20  
(ペンシルバニア大学リチャーズ医学研究所)

2 空間構成の技法 179

凡例 1. 研究室  
2. 動物室  
3. 空調ダクト

基準階平面プラン

図5-17 連結型のプラン (ペンシルバニア大学 リチャーズ医学研究所) (設計:L.カーン, 1958-60)

S20 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い-見ればある 河井寛次郎

**図5-18 連結型のプラン** S21  
(関東通信病院)

図5-18 連結型のプラン (関東通信病院)  
(設計: 日本電信電話公社建築局, 1954)

S21 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い-見ればある 河井寛次郎

**図5-19 分割型のプラン** S22

(イ) 間仕切型 (ロ) 切り取り型

図5-19 分割型のプラン

S22 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い-見ればある 河井寛次郎

**図5-20 サヴォイ邸** S23  
(分割型)

2 空間構成の技法 181

図5-20 サヴォイ邸 (設計: ル・コルブジエール, 1929-31)  
(H.スタブリン著, 鈴木博之訳「図解 世界の建築・下」前掲書, p.465)

S23 2009/7/13 部

**図5-21 デッサウのバウハウス** S24  
(グルーピング)

図5-21 デッサウのバウハウス (設計: W.グロピウス, 1926)  
(H.スタブリン著, 鈴木博之訳「図解 世界の建築・下」前掲書, p.466)

S24 2009/7/13 次郎

S25

### 図5-22 愛知県立芸術大学 (ゾーニング)

音楽学部棟 学生ホール 資料展示館  
本部 講義棟 美術学部棟

図5-22 愛知県立芸術大学 (設計:吉村順三, 1965~74)

S25 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い一見ればある 河井寛次郎

S26

### 図5-23 軸による空間配列

面積を反映して

軸にのせる                      軸をはさむ  
軸に沿う                      軸をささむ

図5-23 軸による空間配列

S26 2009/7/13

S27

### 図5-24 北京の紫禁城における軸線による空間配列

図5-24 北京の紫禁城 (設計)における軸線による空間配列  
(小谷廉之助『建築設計教室』朝日社, p.27の図を転載)

S27 2009/7/13 河井寛次郎

S28

### 図5-25 (1) ハンナ邸 (グリッド)

使用入室 台所 食事室・居間  
玄関 寝室

図5-25(1) アビー・ピーチャー・ロバーツ邸 (直交グリッド 4×4)  
(設計: F.ロイド・ライト, 1936)

S28 2009/7/13

S29

### 図5-25(2) アビー・ピーチャー・ロバーツ邸 (グリッド)

186 第5章 計画の技法

図5-25(2) ハンナ邸 (設計: F.ロイド・ライト, 1936)  
(小谷廉之助『建築設計教室』朝日社, p.27の図を転載)

S29 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い一見ればある 河井寛次郎

S30

### (11) セクションタイプからの発想

- メゾネット形式
  - 多層階の住居などで1住居が2階建て
  - 共用通路部分の面積が減少するなどのメリット
  - ル・コルビュジェが発明
  - テーマは異なるが、2階分を一つの単位にすることは、構造形式でも行われる
- スキップフロア
  - 床のレベルを半階ずらす

S30 2009/7/13 建築計画論(平成21・2009年度2年前期) 何も無い一見ればある 河井寛次郎

学番

名前

FLOOR GUIDE

331

大阪産業大学総合図書館の平面図について、下記の該当する番号の□に入力せよ

- 1  ドミノ・システムと五原則
- 2  ユニバーサル・スペース
- 3  コア・システム
- 4  連結の手法
- 5  分割の手法
- 6  ゾーニングの手法
- 7  グループINGの手法
- 8  軸線による空間の配列
- 9  グリッド・プランニング
- 10  セクションタイプからの発想

階層フロア案内	フロアマップ	1F	2F
<p>第1自由学図書 第2自由学図書 (国際) 第3専攻 (国際) 学芸図書 大学図書 (ボランティア) 読書コーナー リサーチデスクコーナー</p>		<p>第1自由学図書 第2自由学図書 (国際) 第3専攻 (国際) 学芸図書 大学図書 (ボランティア) 読書コーナー リサーチデスクコーナー</p>	
<p>第1情報学 第2情報学 (国際) 大学図書 (文庫) 科学技術文庫 (文庫) ラウンジ 一般図書 図書 図書図書 第3情報学 (グループ) 学芸図書 (国際) 第4情報学 (国際) 第4情報学 (AV・ム・ム) (国際) 特別閲覧室 A・B (国際) OPAC</p>		<p>第1情報学 第2情報学 (国際) 大学図書 (文庫) 科学技術文庫 (文庫) ラウンジ 一般図書 図書 図書図書 第3情報学 (グループ) 学芸図書 (国際) 第4情報学 (国際) 第4情報学 (AV・ム・ム) (国際) 特別閲覧室 A・B (国際) OPAC</p>	

S31 2009/7/13

建築計画論